

臨床研究 「若年成人のB型肝炎細胞がんの実態調査」 研究協力についてのお願い

武蔵野赤十字病院消化器科では、肝臓病の診療にあたっては全国の施設との共同で標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、またはこの研究への参加を希望されない場合は、下記までご連絡くださるか、「不同意確認書」に記名してご提出ください。不同意の場合でも、診療上であなたが不利益を受けることは一切ありません。なお、提出期限は平成 29 年 6 月 30 日までと致します。

本研究の概要は以下の通りです。

① 研究対象

(1) 2011 年から 2014 年に受診された B 型肝炎の人のうち最初に受診された時の年齢が 40 歳未満の方

(2) 2005 年から 2014 年に肝細胞がんと診断された人で (1) 肝細胞がんの原因が B 型肝炎と考えられた人、(2) 肝細胞がんと診断された時の年齢が 40 歳未満、の 2 つの条件を満たす方

② 研究の意義・目的・方法

小児期、ことに 1 歳までに B 型肝炎に感染した場合、高率に慢性化します。慢性化した場合最終的にはその 2-5%の方が肝細胞がんに進展します。その多くは 50 歳以降に発生しますが、中には 30 歳台までに発見される場合もあります。こうした若年発症の肝細胞がんの実態は明らかになっていません。どのような方が若年で発症する方も解明されていません。

平成 26 年 9 月より、小児期の B 型肝炎・C 型肝炎の病態を明らかにすることを目的とする厚生労働省の研究班(小児期のウイルス性肝炎の病態解明や科学的根拠等の集積等に関する研究)が発足しました。この研究班で上述した小児期の B 型肝炎細胞がんの実態を調査することになりました。

この研究は皆様方のカルテから生まれた年月(日は使いません)、性別、家族歴、肝機能、ウイルスマーカー、肝炎に対する治療内容、肝細胞がん診断時の年齢、その時の検査成績などを抜き出し、まとめることにより行います。従ってこの研究のために皆様にお問い合わせすることは何もありません。

研究への参加をお願いするのは肝臓専門医のいる全国約 130 箇所の病院です。500 名の患者さんのカルテ調査を予定しています。研究実施期間は承認日から 2019 年 7

